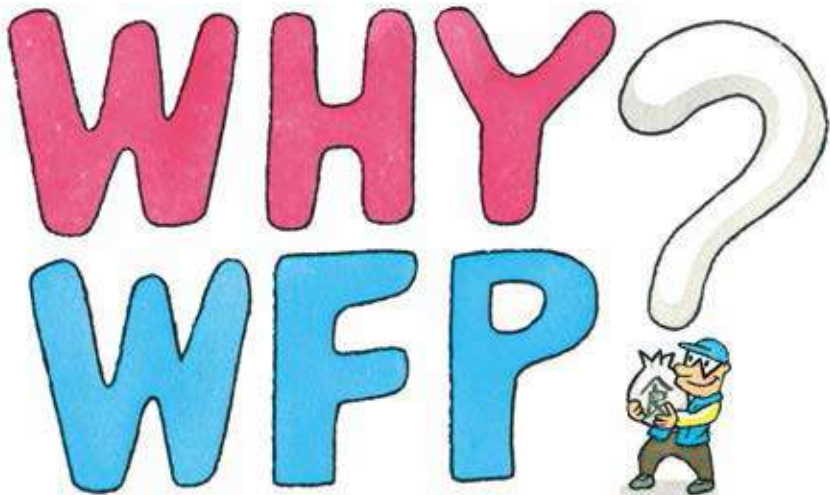
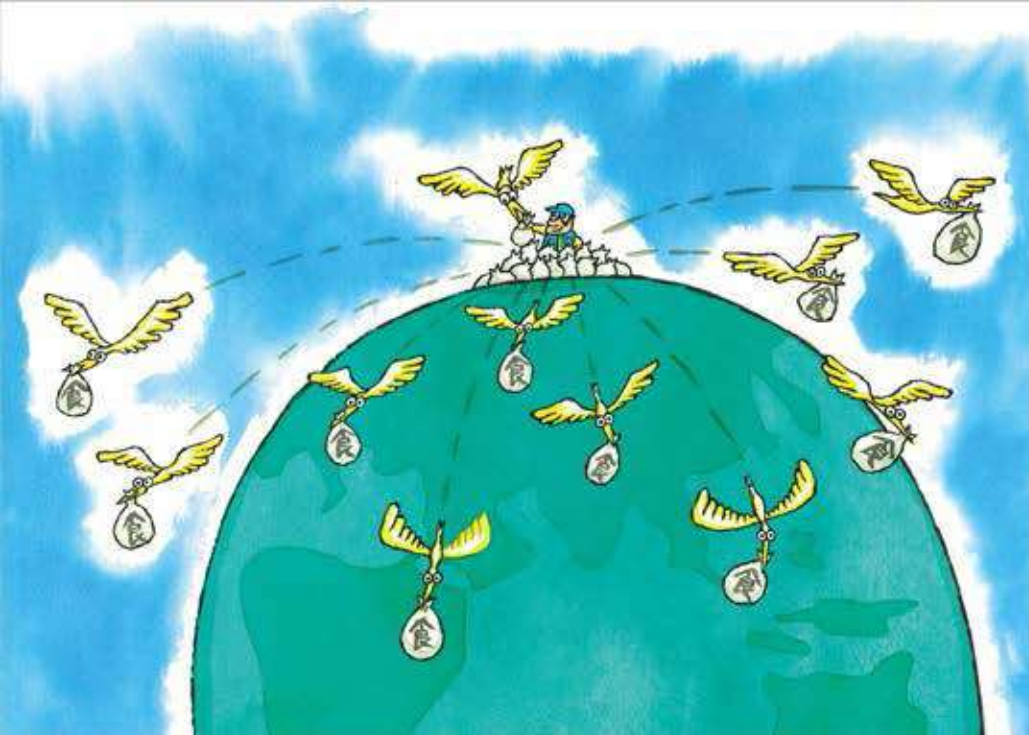


どうして？ 国連WFP





○地球の果てまで

地球上に暮らす人の9人に1人。

約8億人の人が飢餓に苦しんでいます。

紛争による飢餓、貧困による飢餓、自然災害による飢餓……

飢餓の緊急事態が起こると、

どこよりも早く食べ物を届けるのが国連WFPです。

国連WFPは、世界80カ国で約9000万人の人たちに

食料を届ける世界最大の食料支援機関です。



○届ける情熱

災害が起きた時、真っ先に必要となるのは食料と水です。

特別な輸送手段を使える国連WFPは、

素早く食料を届けることができます。

飛行機、ヘリコプター、船、トラック、4輪駆動車、

そして時にはロバに至るまで、あらゆる輸送手段を使って

48時間以内に困っている人たちに届けるように努めています。

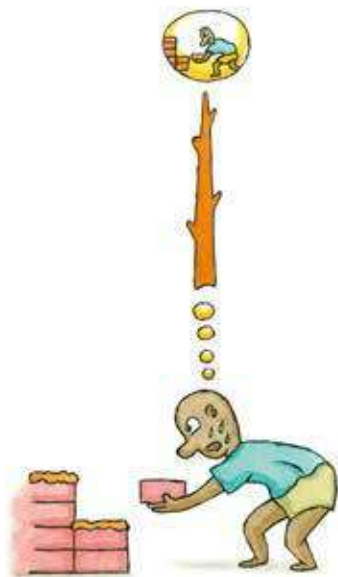
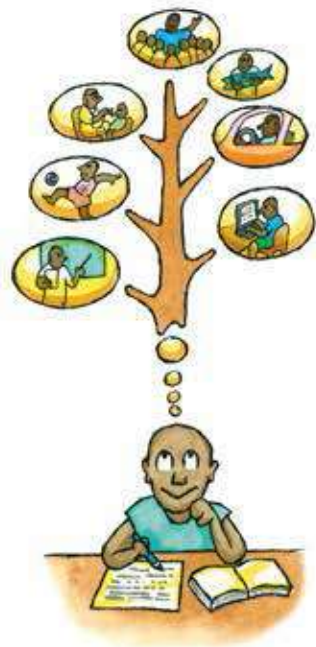


○みんな、お土産付き

国連WFPは学校給食支援を推進しています。

「食べ物」と「教育」をワンセットにして、
給食を食べに来た子どもが栄養だけでなく知識も
必ず身に付く仕組みを作っています。

2017年には65000以上の学校で1830万人の
子どもたちに「食べ物」と「知識」を届けてきました。

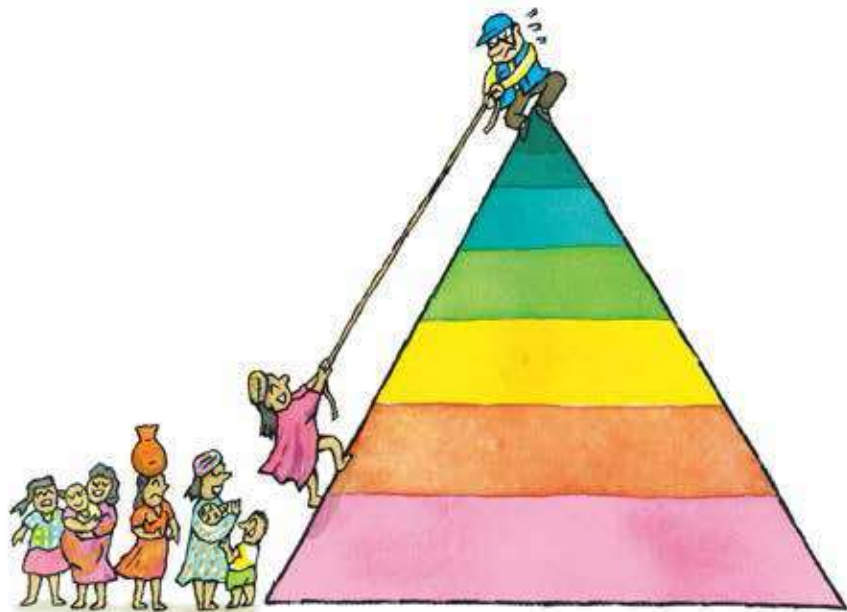


○ 明日の夢の木

勉強したことのある子どもとそうでない子どもの間には、
大きな差が出てしまいます。

勉強をした子どもの未来には、たくさんの可能性が広がります。
しかし、小さい頃から労働ばかりしていた子どもは夢を描けず
一生貧しさから抜け出せない人生になってしまいがちです。

子どもたちの夢を広げることは、
その国を豊かにすることにつながります。



○もっと上へ

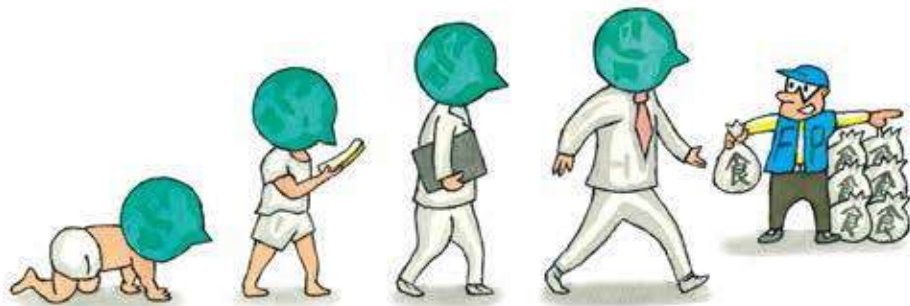
世界には女性の人権が軽視されている国があります。
女性の役割は子どもを育て家事をすることだけだと
考えている国もあります。

国連WFPの学校給食支援は、
そんな女性たちにも教育の機会を広げています。
考える女性が増えることは、バランスのいい社会をつくり
人口爆発を自然に抑制することにもつながります。



○一緒につくろう

国連WFPは、地元の人たちと話し合い
途上国のインフラ作りに取り組んでいます。
村の道路をつくる。橋をつくる。灌漑施設をつくる。
インフラづくりの交換条件として、村人たちには食料を配っています。
国連WFPのサポートが終わった後で、
そのインフラは、村人たちが豊かに暮らし
村が発展するための財産となります。



○一人歩き

世界が平和になるためには、
すべての国が自立して歩いて行けるようになることが重要です。
国連WFPは食料を通して、困っている人たちを助け、
教育レベルを上げ、貧しい国のインフラを整備し、
社会の仕組みをつくっています。
食料は豊かな社会のベースをつくるための有効な道具。
武器ではなく食料を通して、平和な地球を実現する。
それが国連WFPの考え方です。

食料をつかって地球の豊かな未来を計画しよう！



あなたの力を国連WFPに貸してください。

tel.0120-496-819 (9:00~18:00) www.wfp.org/jp